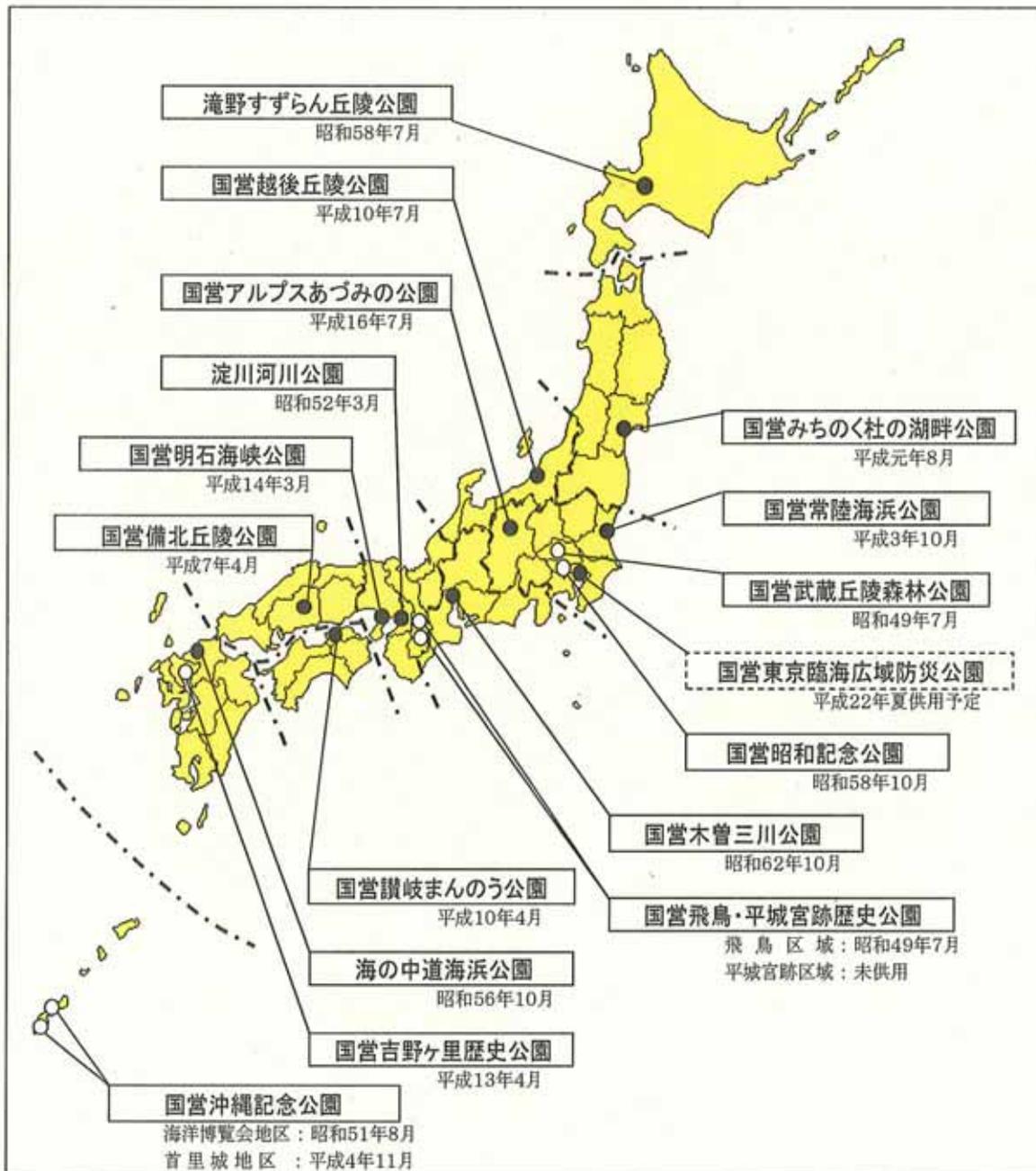


## 国営公園維持管理業務の概要

1. 公園の数 全国 17 箇所（イ号公園 12 箇所、ロ号公園 5 箇所）
2. 入園者数 年間 3,328 万人（20 年度実績）
3. 国営公園の種類
  - (1) イ号公園
    - ・一の都府県の区域を超える広域の見地から国が設置する都市公園（12 カ所）
      - ・レクリエーション需要に対応するために設置する国営公園（11 カ所）
      - ・災害時等、都市の安全性を高めるために設置する国営公園（1 カ所）
  - (2) ロ号公園
    - ・国家的記念事業として、又は我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るために閣議の決定を経て国が設置する都市公園（5 カ所）
      - ・国家的記念事業として設置する国営公園（3 カ所）
      - ・我が国固有の優れた文化的資産の保存・活用のため設置する国営公園（2 カ所）
4. 委託先及び委託費（平成 21 年度実績）

No	公園名	種別	委託先	委託費 (単位:千円)
1	滝野すずらん丘陵公園	イ	(財)公園緑地管理財団	613,600
2	国営みちのく杜の湖畔公園	イ	(財)公園緑地管理財団	411,500
3	国営常陸海浜公園	イ	(財)公園緑地管理財団	663,000
4	国営武蔵丘陵森林公園	ロ	(財)公園緑地管理財団	633,600
5	国営昭和記念公園	ロ	(財)公園緑地管理財団	814,100
6	国営東京臨海広域防災公園	イ	22年度開園予定	22年度開園予定
7	国営アルプスあづみの公園	イ	(財)公園緑地管理財団	576,000
8	国営越後丘陵公園	イ	(財)公園緑地管理財団	425,400
9	国営木曾三川公園	イ	(財)公園緑地管理財団(堤内地)	767,676
			(財)河川環境管理財団(堤外地)	187,992
10	淀川河川公園	イ	(財)河川環境管理財団	205,833
11	国営飛鳥・平城宮跡歴史公園	ロ	(財)公園緑地管理財団	183,900
12	国営明石海峡公園	イ	(財)公園緑地管理財団	382,500
13	国営備北丘陵公園	イ	(財)公園緑地管理財団	544,500
14	国営讃岐まんのう公園	イ	(財)公園緑地管理財団	409,500
15	海の中道海浜公園	イ	(財)公園緑地管理財団	770,400
16	国営吉野ヶ里歴史公園	ロ	(財)公園緑地管理財団	394,000
17	国営沖縄記念公園	ロ	(財)海洋博覧会記念公園管理財団	1,378,000
合計				9,361,501

## 5. 国営公園の分布



## 6. 国営公園維持管理業務の内容

### (1) 運営管理 (ソフト管理)

- ・ 入退園管理、安全指導、巡視警備、救護、事故・災害対応等
- ・ 利用案内、広報活動、宣伝活動、行催事企画運営

### (2) 維持管理 (ハード管理)

- ・ 動植物管理、建物管理、工作物管理、建物・工作物設備管理、清掃等

## 7. 公共サービス改革法の導入状況

(1) 以下の公園について、公共サービス改革法に基づく民間競争入札を実施。

- ・滝野すずらん丘陵公園（北海道）
- ・国営東京臨海広域防災公園（東京都）

(2) 契約期間

平成22年4月から平成25年3月まで

## 8. 入札方式・入札結果の経緯

(1) イ号公園

【平成18年度】

入札方式：随意契約（全て公益法人が受託）



【平成19年度】

入札方式：公募方式（財団以外の参加者の有無を確認）

入札結果：民間の競争参加意向を確認したが、民間の競争参加はなし



【平成22年度】

入札方式：①企画競争（10公園）

：②公共サービス改革法に基づく民間競争入札（2公園）

入札結果：①及び②について現在入札手続中

(2) ロ号公園

【平成20年度】

入札方式：随意契約（全て公益法人が受託）



【平成21年度】

入札方式：企画競争（全て公益法人が受託）

入札結果：民間との競争を行った結果、全て公益法人が受託。

## 9. 現在の契約状況

### (1) イ号公園

- ・民間競争入札を行う滝野すずらん丘陵公園、国営東京臨海広域防災公園が、平成22年4月から平成25年3月までの契約
- ・その他の10公園が、平成22年6月から平成25年3月までの契約

※平成25年4月から公共サービス改革法に基づく民間競争入札が実施可能

### (2) ロ号公園

- ・全ての公園が、平成21年4月から平成24年3月までの契約

※平成24年4月から公共サービス改革法に基づく民間競争入札が実施可能

## 10. 行政刷新会議の評価結果（別紙）

昨年11月の行政刷新会議における評価結果の内容は「入札改革すべき。入札制度を変えるべき。」等、価格も含めた入札にするべきという意見が大半であった。

### 11. 議論のポイント

- (1) 行政刷新会議の指摘のとおり、価格の要素も含めた入札に改革するためには、イ号公園については現在の契約が終了する平成25年4月から全面的に、ロ号公園については現在の契約が終了する平成24年4月から全面的に、公共サービス改革法に基づく民間競争入札を実施するべきではないか。
- (2) 先行して市場化テストを実施している2公園については、監理委員会と連携し入札内容の見直しを大幅に行った。その結果として、国営東京臨海広域防災公園の入札では、多数の民間事業者からの参入が実現されている。このような状況を踏まえると、今後、実施要項を審議する際には、特定の公園だけを審議の対象とするのではなく、全公園の審議を行う必要があるのではないかと。

以上

## 第1WG 評価コメント

### 評価者のコメント(評価シートに記載されたコメント)

#### 事業番号1-13 国営公園の維持管理

- 22年度は無理でも、次の契約時までには発注形態を抜本改革する。コスト削減だけでなく事業収益増も見込めるはず。
- 入札を改革すべき。
- 入札制度を変えるべき。
- 入札の見直しの余地がかなりある。
- 一般競争入札を必須とした上で管理すべき。
- 適切な競争を確保し民間の能力を活用すれば、より効率的で質のよい維持管理ができると考えられる。
- 自治体の指定管理者制度と同様に、民間に包括委託すべき。

### WGの評価結果

#### 予算要求の縮減(3年以内も含め20%)

(廃止0名 自治体/民間0名 予算計上見送り0名)

予算要求縮減:a20% 7名 b10%程度を縮減 2名 cその他 1名 予算要求通り0名)

### とりまとめコメント

予算要求の縮減に意見が集中した。

入札の見直しの余地が多くあろうかと思われるので、当ワーキングとしては、「3年以内も含め20%の予算要求の縮減」を結論とする。